

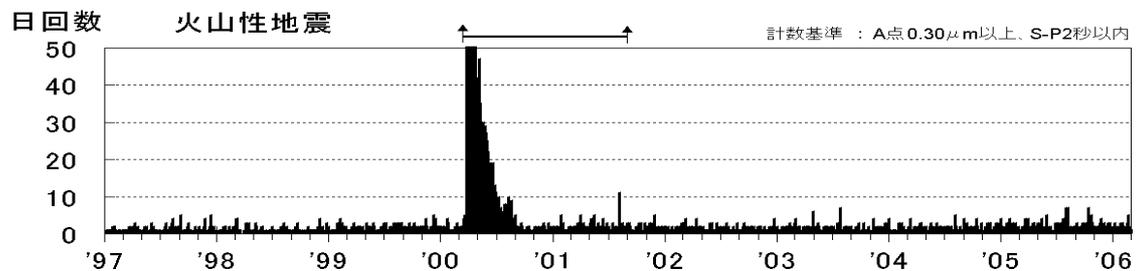
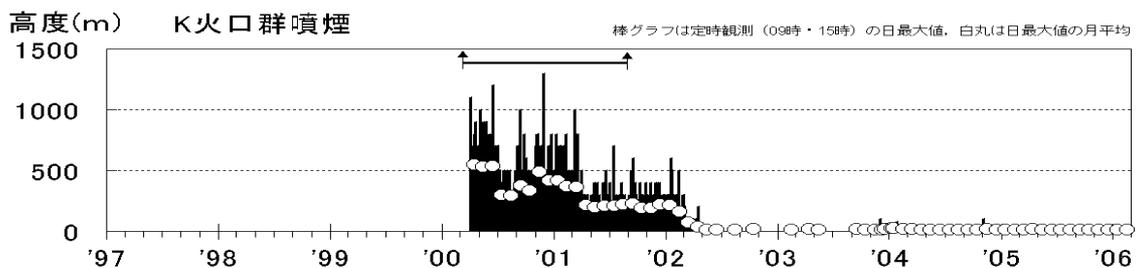
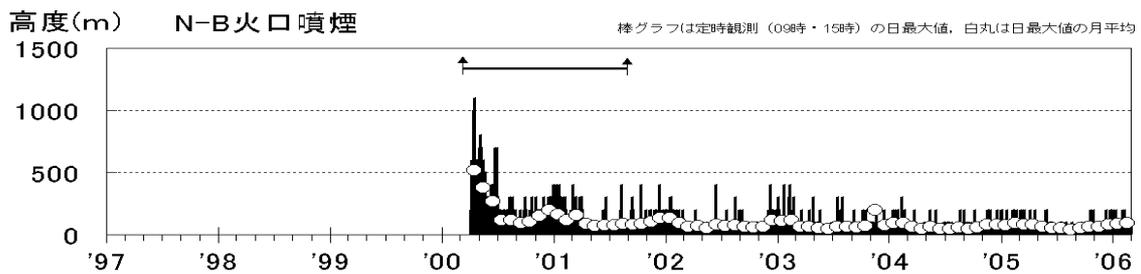
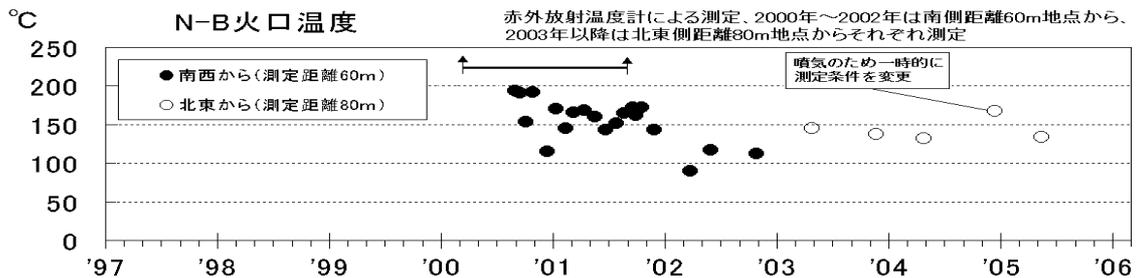
# 有珠山

## 1 概況

火山活動は静穏な状態が続いています。

## 2 噴煙の状況

西山西麓 (N) 火口群にある N-B 火口では、弱い噴気活動が続いており、噴気の高さは火口縁上おおむね 100m 以下で推移しました。金比羅山 (K) 火口群では、時折ごく弱い噴気が観測されました。その他、山頂火口原や昭和新山でも弱い噴気活動が続いていますが、これまでと比べて特段の変化は認められません。



最近の火山活動経過図 (1997 年 1 月 1 日～2006 年 2 月 28 日)

↑印で挟まれた期間は 2000 年噴火活動期

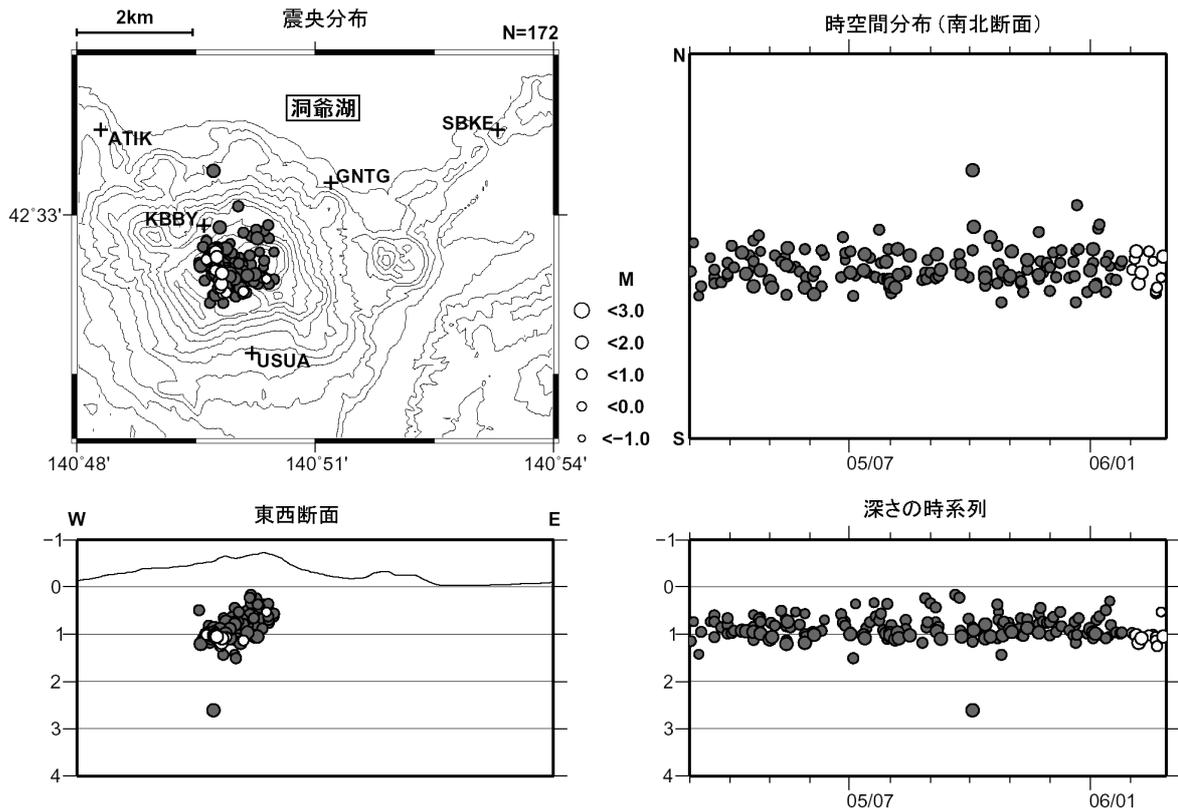
本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50m メッシュ (標高)』を使用しています。(承認番号 平 17 総使、第 503 号)

### 3 地震および微動の発生状況

火山性地震は 1 日あたり 0~5 回と少ない状態で経過しました。  
火山性微動は観測されませんでした。

地震・微動の月回数 (A 点)

2005~2006 年	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月
地震回数	22	24	36	18	44	37	29	35	29	33	26	34
微動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



有珠山の震源分布図 (丸印：震源 +印：地震観測点)

○印は今期間 (2006 年 2 月 1 日~28 日) に求まった震源を示しています (14 個)。

●印は前期間までの 11 ヶ月間 (2005 年 3 月 1 日~2006 年 1 月 31 日) に求まった震源を示しています (158 個)。

震源は山頂部直下の海面下 1km 前後に集中しており、今期間に求まった震源もこの領域内に分布しています。

#### 震源分布図の説明

- ・東西断面：震央分布で表示された範囲を東西面に投影して、地震の垂直分布を示した図です。
- ・時空間分布：震央分布で表示された範囲を時間経過とともに南北面に投影することで、震央の位置がどのように推移しているかを示した図です。
- ・深さの時系列：時間経過とともに震源の深さがどのように推移しているかを示した図です。

